

シルバ－本庄

第37号



現下の厳しい経済状況に伴い、受注件数の減少傾向にあるシルバー人材センター。地域奉仕活動やいくつもの研修会などを実施。地域の人々へのサービスと捉え、日々の就業に取り組んでいます。(関連記事/2・5・6面)

平成23年度～平成25年度 **安全就業スローガン**

安全は 一声かける ゆとりから

※青森県むつ市シルバー人材センター 杉本晃一様作品

発行所

公益社団法人 **本庄市シルバー人材センター**

本 所 〒367-0062 本庄市小島南1丁目8番4号 TEL0495-23-1356 FAX0495-23-0732
<http://www.honjoh-sjc.or.jp> E-mail: honjoh@sjc.ne.jp
 児玉支所 〒367-0217 本庄市児玉町八幡山368 TEL0495-73-1256

公益社団法人 本庄市シルバー人材センター(定款)

第 3 条 (目的)

センターは、社会参加意欲のある健康な高齢者に対して、地域社会と連携しながら、その希望に応じた就業並びに社会奉仕等の活動機会を確保するとともに、生きがいの充実及び福祉の増進を図り、高齢者の知識、経験及び能力等を生かした活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。



市民文化会館で開催された定時総会

平成25年度 定時総会

平成24年度収支決算・理事・監事選任の件など全議案可決

就業機会の開拓と拡大などの取り組みが今後の課題

本庄市シルバー人材センター定時総会が6月21日、市民文化会館において、大勢の会員が参加し盛大に開催されました。昨年の4月に公益社団法人として新たにスタートして1年を経過してからの定時総会。平成24年度事業報告、平成25年度事業計画及び収支予算の件など4件の報告事項、議案として平成24年度収支決算の件、理事・監事選任の件など4件が提案され、慎重審議の結果、いずれも満場一致で可決されました。

地道な活動に対し感謝の祝辞

総会では、吉田信解理事長のあいさつ、来賓として出席くださいました早野清市議会議長、内田睦夫本庄商工会議所専務理事、江原貞治児玉商工会会長から、日ごろの地道な活動に対し、感謝と激励の祝辞をいただきました。

役員表彰2名、会員表彰14名

一方、役員として2期以上在任し、今期で退任する2名、正会員として10年以上にわたり、他の模範となりその功績が顕著な方18名が、吉田理事長より表彰されました。なお、表彰された方がたは次のとおりです。(敬称略・順不同)

役員表彰

▽松原史子 (理事3期)

▽今井善一 (監事3期)

会員表彰

- ▽秋田幸宏
- ▽根岸タケ子
- ▽中島睦男
- ▽戸塚実
- ▽岡芹忠男
- ▽中屋一男
- ▽大塚義和
- ▽平野俊久

受注額減少、今年度も厳しい状況

平成24年度事業報告では、団塊の世代がシルバー世代に達し、高齢化がさらに進む状況の中、一方経済と雇用環境の変化に伴い、民間・公共の受注額が減少して、平成24年度の契約金額は前年度を下回る結果となりました。

新役員体制スタート

役員人事では、次の方がたが理事・監事に選任(再任)されました。総会終了後、理事会が開催され、理事長・副理事長・専務理事が選出されました。(順不同)

●理事

▽吉田信解(理事長)

▽山口真砂(副理事長)

▽吉田稔(専務理事)

▽青木治江

▽荒井一夫

▽荒井国重

▽飯島由和

▽内野勲

▽小宮玲子

▽齊藤勝敏

▽櫻井嘉美

- ▽本田茂昭
- ▽小宮玲子
- ▽大谷守
- ▽加菅義治
- ▽荻野勝信
- ▽吉田正人
- ▽飯島武雄
- ▽久米原俊子
- ▽倉林重雄
- ▽鈴木一郎

●監事

▽塚本雅俊

▽岡芹博

第4回はつらつ シルバ－フェスティバル

日時 平成25年10月6日(日)
午前10時～午後3時 雨天決行

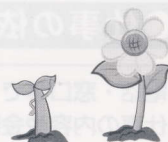
場所 本庄市中央公民館

内容

- 発 表**
- ☆午前10時30分～ (20分程度予定)
本庄第一高等学校チアリーディング部
 - ☆午後1時30分～ (30分程度予定)
本庄市立西中学校吹奏楽部

無料配布

- ◇花苗 ○1回目 午前10時より整理券配布 先着100名様
午前11時より引換
- 2回目 午後1時より整理券配布 先着100名様
午後2時より引換



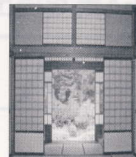
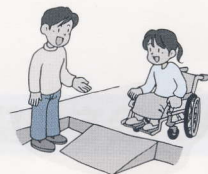
◇水風船・わたあめ・ポップコーン (終わり次第終了)



各コーナー

- ☆仕事の発注受付
- ☆作品等展示
- ☆仕事の実演
- ☆こども昔遊び
- ☆高齢者・障害者疑似体験
- ☆かあちゃんの夕市他
- ☆まごころ蕎麦塾
- ☆味噌おでん・フランクフルト・おにぎり販売

ご発注頂いた方、その場で記念品プレゼント！
私達の仕事・趣味・特技作品
襦・障子・網戸・椅子の張替・大工
割ばしてっぼう・コマまわし
車椅子・アイマスク等
新鮮野菜の販売
蕎麦の販売



皆様お誘い合わせのうえ、お子様からお年寄りまで
大勢の方のご来場をお待ちしております。

主催 公益社団法人本庄市シルバ－人材センター
後援 本庄市

お任せください! その仕事

● 技術を必要とする分野

ふすま・障子・網戸はり
植木の手入れ
ペンキ塗り
大工仕事
など



● 屋内外の一般作業

除草・草刈り
屋内外の清掃
包装など



● サービス分野

買い物・留守番
植木の水やり
掃除・洗濯など
家事全般



● 事務分野

一般事務
毛筆筆耕
宛名書き
受付事務など



● 管理分野

ビル・マンション管理、
駐車場管理など



● 折衝・外交分野

広報等の配布
検針・集金など



● 仕事の依頼から請求まで

電話・窓口等で
仕事の内容や金額
等をお問い合わせ
ください。

仕事の内容に
適した
会員に連絡。

日程・作業要領
等を了解の
もとで、作業に
入ります。

作業終了後に
請求書を作成し、
送付します。

お客様から
のご入金。

センターにお仕事を発注されるにあたって

会員の働き方

- 法律上、会員の就業は、発注者との間に雇用関係は生じません。
- 会員は、臨時的、短期的及び週20時間までの軽易な業務に就業することになっておりますので、交代で働きます。
- 発注者からの仕事の説明は受けませんが、指揮命令は受けることができません。
- 契約事項にない仕事は原則としていたしません。あらかじめ契約を結んでいただくことになります。

安全への配慮

- 高齢者の安全に配慮して、危険、有害な仕事はお引き受けいたしません。

シルバー保険

- 会員の就業は、雇用ではありませんので、万一、事故が発生した場合は、シルバー保険で対応いたします。

契約代金の支払い

- 契約代金の内訳は賞金や給与ではありませんので、代金は外注費、委託費でお支払いください。

入会しませんか?

★入会を希望される方は…

原則として60歳以上で、健康で働く意欲があり、センターの趣旨に賛同して入会説明を受け、入会申込書を提出した人。(理事会の入会承認が必要です。)

入 会 説 明 会

● 毎週火曜日

午前10時より
本庄市シルバー人材センター
〒367-0062 本庄市小島南1-8-4

● 毎月第2・第4金曜日

午前10時より
児玉文化会館 (セルディ)
〒367-0216 本庄市児玉町728-2

※お問い合わせは本庄市シルバー人材センター ☎0495-23-1356へ



20キロ圏内にある南相馬市小高「福島第一原子力発電所から

着の身着のまままで本庄へ避難

肝心の復興は進んでいないと語る菊池二三さん(84歳)

区では、原発事故から1年近く経たつて、住民の立ち入りが厳しく制限されて、現在は警戒区域の指定が解除されたものの、肝心の復興はほとんど進んでいない状況です。」と語る菊池二三さん。
娘さん夫婦が本庄市内のマンションに住んでいたため、震災の4日後の3月15日、頼って転がり込んだ状況だった。その後、現在

のアパートに移り住んで、親子3人で暮らしているという。
南相馬市は、平成18年1月1日、旧原町市、旧鹿島町、旧小高町の1市2町が合併して誕生。位置は福島県浜通りで太平洋に面し、面積は398.5平方km。
毎年7月下旬、甲冑に身を固めた500余騎の騎馬武者が腰に太刀、背に旗指物を着け疾走する勇壮な戦国絵巻を繰り広げる「相馬野馬追」は、1000年以上の歴史があり、全国に知られています。

菊池さんは昨年の4月から本庄市のシルバー人材センターへ登録し、会員仲間と一緒に忙しい除草作業に追われる毎日を送っています。「原発事故以前の平穏な生活を取り戻す見通しは立っていませんが、小学生の頃から親しんできた民謡を、地元の野山に囲まれた環境の中で、自慢ののどを披露したい。」と、笑顔で語ってくれました。
曲目はやっぱり地元の「相馬流山」・「相馬盆歌」・「新相馬節」のようです。

地域に貢献するシルバー人材センター

植木の剪定・除草・清掃作業などのボランティア活動

市民プラザ跡地

小山川河川敷
(千本桜まつり会場)



除草作業に精を出す会員

本庄祇園まつりを一週間後に控えた7月6日の早朝、市民プラザ跡地に会員57名が集合。清掃ボランティア活動を実施しました。この活動は、会員の技術・経験を生かし、地域に貢献するシルバー人材センターの存在、認知度と信頼性を高めることを目的に、

毎年行っている恒例行事です。この日は朝から気温がグングン上昇とあって、参加した皆さんは全身汗びっしょり。約2時間をかけ、植木の剪定、除草・清掃作業を手分けして行いました。
見違えるほどきれいになったまつりのメイン会場を見回して、会員自身が自主的にこのような奉仕活動に積極的に参加し、地域に訴えかけ、シルバー事業をPRしていくことの必要性を再認識する一日となりました。
なお、去る3月16日「こだま千本桜まつり」に先がけ、会場となった小山川河川敷に80名の会員が集合。空き缶・ビン拾いなどの清掃奉仕活動を実施し、心地良い汗を流していました。
この奉仕活動も「千本桜まつり」に見えたお客様が気持ちよく見物

できるようと、合併後毎年実施しているものです。
なお、4月7日に予定されていた千本桜まつりは、天候不順によりあいにく中止となりましたが、桜見物に訪れた皆さんは、見事に咲き誇る千本桜を見て歓声を上げていました。



大勢の会員ボランティアの前であいさつする吉田理事長

会員自身のスキルアップを目指して

地域の人々へのサービスと捉え

もてなしの心を養う

接遇研修会

お客さまの満足は「どうすればお客さまに喜んでもらえるか」が出发点。

2月27日・28日、3月29日、勤労青少年ホームなどを会場に外部講師(株)インソース柳沢恵美先生を招き「接遇研修会」を開催しました。

この研修会は、シルバー人材センターとして仕事の出来具合を満足していただくことはもちろんのことですが、さらに会員の接遇態度やコミュニケーション能力の向上を図っていくことが、新たな就業機会の向上につながっていくものと考えられるため、事業部会(進藤弘会長)が開催したもので、参加者は3日間で計176名。関心



熱心に受講する会員の皆さん

運転技術の再点検

安全運転講習会

の高さが伺える研修会でした。参加した会員たちは、基本的マナー(あいさつ・表情・話し方など)・言葉遣い・電話対応など、こやかで明るい表情で実践し、明日から生かすことのできる実りある接遇研修会でした。



教習所のコースで運転技術の再点検

シルバー会員は安全運転を心がけます。

1月17日、本庄自動車学校において「交通安全講習会(シルバードライバードック)」が開催されました。

会員のほとんどが自動車運転免許証を所持している方たちであり、就業中とはもとより、就業途上の交通事故を絶対なくしようと毎年開いているものです。

この日、受講したシルバー会員は52名。教習所のコースを利用し、教官から運転の適正や運転のクセなどチェックしてもらいながら、運転技術の再点検をしていました。

いざという時、冷静に行動

救命講習会



AEDを使用し、心肺蘇生法を学ぶ

日常生活の中で、何の前触れもなく突然訪れる病気やケガ、このようなときそばに居合わせた人ができることは何か。

安全委員会(荒井国重会長)では、

最前線で活躍している郡市広域消防本部南分署の救命士の方たちを講師に招いて、救命講習会を実施しました。この日の受講生は会員56名、一般参加市民8名の計64名。

いざという時に冷静に行動できるものなのか、救急車が到着するまでにどういう処置をしたらいいのかなど、グループに分かれ、実際にAED(自動体外式除細動器)を使つての講習内容で、119番

通報する人、AEDを持つてくる人、人形を使って心肺蘇生をする人、大声で応援を呼んだり、人口呼吸、AEDを使つての電気ショックなど、受講者は講師の説明を聞きながら、真剣そのものの表情で実践していました。

会員の登録状況			
	男	女	計
24年 3月31日	368	114	482
25年 3月31日	348	114	462

編集後記

「赤々と日はつれなくも秋の風(芭蕉)」
この句のように残暑厳しい折ですが、さすがに風だけは秋の気配を感じさせるこの頃です。

「シルバー37号」をお届けします。情報・感想・ご意見など、お気軽にお寄せください。皆さんに読んでいただき、親しまれる広報誌づくりを目指していきます。

さて、来る10月6日(日)、中央公民館において、日ごろの私たちの仕事の内容や事業活動を紹介する「フェスティバル」を開催します。皆様お誘い合わせのうえご来場ください。お待ちしております。